

# 10期 生演奏で楽しむ音楽科

## ～心豊かなひと時～

### 《第12回講座》

- \* 日時： 2022年9月9日（金） 10:00～12:00
- \* テーマ： 楽器の魅力と表現「ヴァイオリン」  
「モーツァルトの生涯」
- \* 講師： 松田淳一氏
- \* 共演： 松田淳子氏（ピアノ） 中村理子氏（ソプラノ） 柳浦香澄氏（ヴァイオリン）

私たちが学ぶ「生演奏で楽しむ音楽科」の夏休み明け2学期の最初の授業です。基本的には一人の演奏家にピアノ伴奏が通例になっていますが、今回はヴァイオリンが2台とピアノそして声楽家でソプラノの中村理子氏の4人の演奏会になりました。期待にたがわず松田淳一先生の司会進行でW.A.モーツァルトの生涯について幼少のころからそして各国への演奏旅行・時代背景・社会状況などの解説を挟みながら17曲の演奏・歌声が楽しめました。





ロンドンでモーツァルトが8歳のころピアノの鍵盤まで背が届かず、21歳年の差のバッハと演奏会で一台のチェンバロを連弾ではこのような形で演奏された再現です。



王族や貴族のパトロンの前では色んなリクエストがあり目隠しをしてピアノを弾くこともあったようです。松田淳子先生による「トルコ行進曲」の演奏。



ドンジョバンニより「恋人よさあこの薬で」より舞台上で松尾クラス委員長と中村理子先生のオペラ再現劇

3班 広報係 広瀬 雅人